

未来を創る鹿児島「教育の情報化」推進プラン Ver.1.1 (概要)



県教委HP「教育の情報化」

I プランの目的と位置付け

- 県全域で等しく質の高い教育を受けられるための環境整備を推進
- 学校教育の情報化の推進に関する法律に基づく県の施策についての計画
- 令和5年度からの3年間を計画期間とし、計画期間中においても随時「Ver.」の更新により充実・見直し

全体を通して、Web上に公開されている参考資料には、その部分に、リンクマーク「🔗」を付けてあります。クリックすると、そのWebページに行けるようになっています。



II 本県における教育の情報化の基本的な方針

- 予測困難な時代において、「夢や希望を実現し未来を担う鹿児島の人づくり」の観点から教育の情報化を推進
- ICTを「文房具」として日常的に活用し、主体的に考え、協働的に議論し、納得解を生み出す力を育成
- 全ての学校において、日常的にICTを活用できる環境を整備し、その活用を促進
- 情報化が急速に進展する社会において、子供たちに身に付けることが求められている情報活用能力の育成
- 教師のマインドセット（授業観等）の変革と、主体的に学んでいく姿勢や管理職のリーダーシップの発揮
- 本県の魅力ある教育資源とICTのベストミックスによる鹿児島教育DXを推進し、「学びの変革」により、本県ならではの「令和の日本型学校教育」を実現



III 本県における教育の情報化の推進に当たって大切にすべき視点

1 児童生徒の力を育む手段としてのICT活用

- 目的は児童生徒に必要な資質・能力を身に付けることであり、ICTはそのためのツール(手段)
- 教師・児童生徒共に「まずはやってみる」という姿勢で、試行錯誤による不断のPDCAを実施

2 「リアルな体験」や「つながる経験」とのベストミックスを生み出すICT活用

- 本県の魅力溢れる豊かな教育資源を積極的に活用し、「リアル」×「デジタル」のベストミックスを推進
- ICTを人や自然、文化等と「つながる」手段として積極的に活用し、交流等を加速

3 互いの学び合いによるICT活用指導力の向上～1人の100歩ではなく、「100人の1歩」の積み重ね～

- 教師も「誰一人取り残さない」、互いに助け、学びつつ教え、教えつつ学ぶ姿勢が重要
- 県教委として多様な教育実践をつなぎ、誰もが取り残されない形で、新たな学びの変革を推進

IV 具体的な施策

1. 変化の激しい社会(デジタル社会)を「生き抜く力」を身に付けた児童生徒の育成

- (1) 社会の変化に対応できる情報活用能力の育成
- (2) デジタル社会へ積極的に参画できる力を育む情報モラル教育等の充実
- (3) 将来の可能性を広げ、論理的思考力を育むプログラミング教育の充実
- (4) 健康面に留意し、適切にICTを活用できる態度の育成

・ 生成AIの取り扱いに関する基本的な考え方や活用の在り方についての文章を追加するとともに、生成AIとの関連性が考えられる部分の加筆

2. 新たな学びを生み出す授業の創造

- (1) ICTや情報・教育データを利活用した個別最適な学び・協働的な学びの加速
- (2) やむを得ず登校できない児童生徒に対する学びの保障等
- (3) 障害等による学習上又は生活上の困難さを改善するICT活用の促進

・ 教育データの利活用に関する部分の加筆(生成AI活用との関連性についても加筆)
・ 不登校児童生徒への支援の在り方に関する部分の加筆

・ 「かごしま県教育育成指標」に関する内容の加筆

3. 教職員のICT活用指導力の向上

4. 校務の情報化の推進

・ 校務における生成AI活用の考え方等について加筆

5. 学校におけるICT環境の整備と維持管理

- (1) 教育の情報化を支える基盤整備
- (2) 個人情報の保護・情報セキュリティの確保
- (3) 教育の情報化を推進・支援するための体制整備

・ ICT環境整備について加筆

・ 生成AI活用等も含め、情報セキュリティ確保に関する内容を加筆

・ 保護者や地域の理解促進に関する内容の加筆



夢や希望を実現しともに未来を創る鹿児島の人づくり